



発行者兼編集者
 編 戸 神 宮
 社 務 所
 印刷所
 西 日 本 印 刷

ごあいさつ

宮 司 長 友 安 美

盛夏の候、氏子、崇敬者の皆様方には益々御健勝の御事とおよろこび申し上げます。

現在の社会状況をみますに原子力発電所の放射能漏れ等に依る環境汚染がマスコミを通じて報じられ、大きな社会問題となっております。これは偏にエネルギー開発を急ぐあまり、放射能漏れ防止研究

がおろそかになつたのではないかと思われます。米国のスマイル島原発放射能漏れ事件による地元住民避難の惨事が再び日本に於て起らない様祈ると共に、防止研究開発が早急に進められる様希望するものであります。

又、経済状況はやゝ上昇の兆しをみせていますが、米、西欧諸国との自動車貿易

摩擦が一段と厳しいものとなり、米国に対しての輸出自粛を強要されたのを始めとしてEC諸国もこれに準ぜようとしているのが現状であります。この様な中で日本企業は海外企業との提携に依つて発展の道のみつけ出す様日夜努力を続けております。

本年は延暦中興千二百年祭記念事業でありました参道玉垣整備、別当墓地整備、山門新築、別当宮司先賢慰霊碑二基建立を五月末日に無事終了し、七月十五日別当宮司先賢慰霊祭を滞りなく終えたことは、偏に皆様方の御支援の賜物と存じ御礼と共に御報告申し上げます。最後に皆様様の御多幸を祈念致しご挨拶と致します。

別当宮司先賢慰 霊祭並碑除幕式

—七月十五日—

去る七月十五日、別当宮司副
係遺族、責任役員、氏子総代、
御詠歌の参列の見守る中、別当
宮司先賢慰霊祭並びに碑除幕式
が別当墓地においてしめやかに
とり行われた。



り法要が行われ、清閑とした別
当墓地に詠経が響き合せて流れ
た。この後、遺族を始めとして
次々に関係者が玉串を奉奠して
無事祭典を終了した。

祭典終了後、儀式殿に於いて
直会の席が設けられ、慰霊祭並
びに慰霊碑除幕式の盛儀を祝っ
た。

遺族参列者氏名

- | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|
| 高橋 | 伊東 | 永友 | 長友 | 長谷川 | 石川 | 岩下 | 津東 | 川田 | 東瀬 | 矢野 |
| 己郎 | 六郎 | 茂夫 | 貞夫 | 子貞 | 浩子 | 規三 | 健三 | 忠俊 | 力丸 | 重夫 |

延暦中興千二百年

奉祝別当宮司先賢慰霊祭を祝う!!

責任役員
吹毛井地区長 安藤 喜 後



鵜戸神宮におかれて、今年延
暦中興千二百年祭を取り行われ
ることは、氏子民として誠に慶
賀に堪えない次第でありまして
衷心から部落民の総意を代表し
ましてお慶びの祝詞を申し上げ
る次第で御座います。

神宮とされましては千二百年
祭の關係大業とされて、先に
二月一日例大祭に恒例の剣道大
会並びに四半の大会を例年より
盛大に取り行われ、今七月十五
日に別当宮司先賢の慰霊祭、今
秋に延暦中興千二百年奉祝祭を
大々的に挙行されて一切の行事
を終られるようですが、事此処
に到るまでには容易ならぬ御苦
勞があったこと、お察しいたし
ます。

顧みすれば、今から千二百
年前延暦元年第五十代桓武天皇
の勅命を受けられた初代別当光
喜坊快久法印(第一世)から明治
初年の五十九世徳久法印に到る
代々の霊をお祭りした墓地で、
墓石は塔頭(たちぢ)という
お墓の古い形式で国内でも珍ら
しい文化財遺産として尊いもの
であると聞き及んでおります。
今度神宮におかれては広い墓
地の墓石の整備、墓地参道の整
備、山門の建立等一切の整備
が、宮司長友安美様の配慮構想
によって完成しましたことをお
祝い申し上げます。

かつては神仏両道の鎮護国家
の殿修地として、西の高野山と
呼ばれた当時の繁栄振が偲れ
る。別当宮司先賢慰霊祭が、長
友宮司様、伊勢木僧侶様によっ
て、おごそかに盛大に行われま
したことは千二百年という長い
歴史の重さを感じると共に、先
師の代々の御霊にも如何ばかり



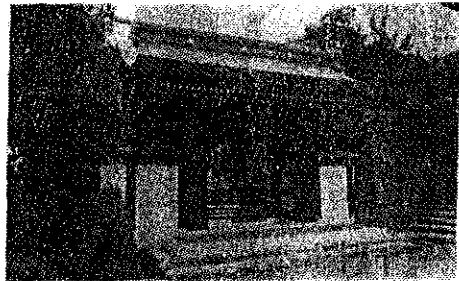
供養となりお慶びのことかとお
偲び申し上げる次第でありま
す。
今後はこれを機会として氏子
民をはじめ多くの人々が鵜戸さ
ん詣りと共に此の整備されまし
た別当地を訪れることと思われ
ますが、神道と仏教の交流した
歴史の一舞台として意識深い鵜
戸さん詣りになることと、氏子
民の一人としましてよろこびに
堪えない次第であります。
まだ一度も訪れたことのない
方々に御来訪をお勧めいたしま
す。簡単ではありますが、吹毛
井地区民一同を代表いたしまし
て、一言御挨拶といたします。

桓武天皇延暦中興千二百年祭

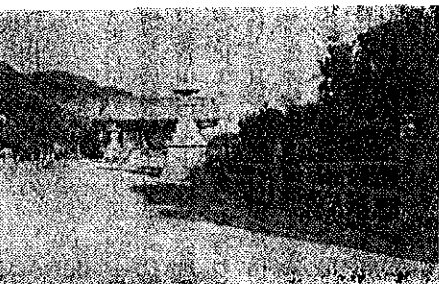
—記念事業—終了

第五十代桓武天皇の延暦元年
秋天台宗僧光喜坊快久が宣命を
奉じて、社殿を再興し、併せて
寺院を建立し、勅号を鵜戸山大
観現吾平山に王護國寺を賜って
より、本年千二百年を迎えた当
宮は、この良き年の記念事業と
して、参道玉垣整備、山門新築、
別当宮司先賢慰霊碑二基建立を
計画をし工事を進めてまいりま
したが、五月末日をもって無事
工事を完了致しました。

参道玉垣は神門の前より千鳥
橋までの木造の玉垣を鉄筋コン
クリートで造り朱を塗り、金色
の擬宝珠(ぎぼし)を付けて、
神門、楼門との調和のとれた玉
垣を造り終えました。



下の御門



参道玉垣

光喜坊快久が「鵜戸山大権現
吾平山仁玉国寺」の勅号を賜っ
て第一代別当となり、これより
後、明治にいたるまで五十九代
の別当の御霊が鎮まるところが
別当墓地である。なかには五輪
塔もあり、井戸枠形に石を組
み、中に人の頭ほどの丸石を安

置しているものが大多数を占め
ているこの墓地も時の流れと共に
五輪塔の中に崩れ傾くものも
あり、これらを整備しなおし、
石垣等なおし、墓地の中に祭場
を設け、祭場の正面左右に別当
宮司先賢慰霊碑二基を据え付
け、右の一基に願成就寺住職伊
勢木俊秀氏の筆で「鵜戸山系代
別当尊霊」と銘をうち、左の一
基に宮司長友安美氏の筆で「鵜
戸神宮累代宮司の霊」と銘をう
った。

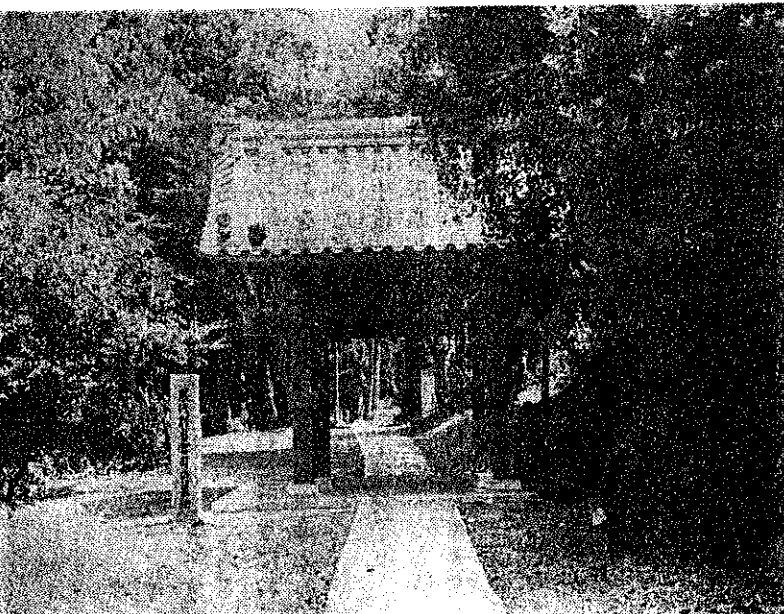
鵜戸第一駐車場よりこんもり
とした杉林のなかに八丁坂(旧



別当墓地



参道)が山越えて社務所まで
続いている。この八丁坂を登り
つめたところ、別当墓地の入口
に新しく山門の建立となった。
この地は、創建年月日は不明で



あるが辻堂のあったところで、
清武村柘全の作った本尊地藏菩
薩と十王像が安置してあり、承
應三年に草葺に改め、延享四年
三月に仏像堂宇も再興したと『
鵜戸の宮居』にとどめてある。
現在は石垣がその面影を残す程
であり、八丁坂を登りつめると
真新しい建坪二、六坪鉄筋コン
クリート瓦葺の山門が現われて
くる。
別当の山門

献茶祭

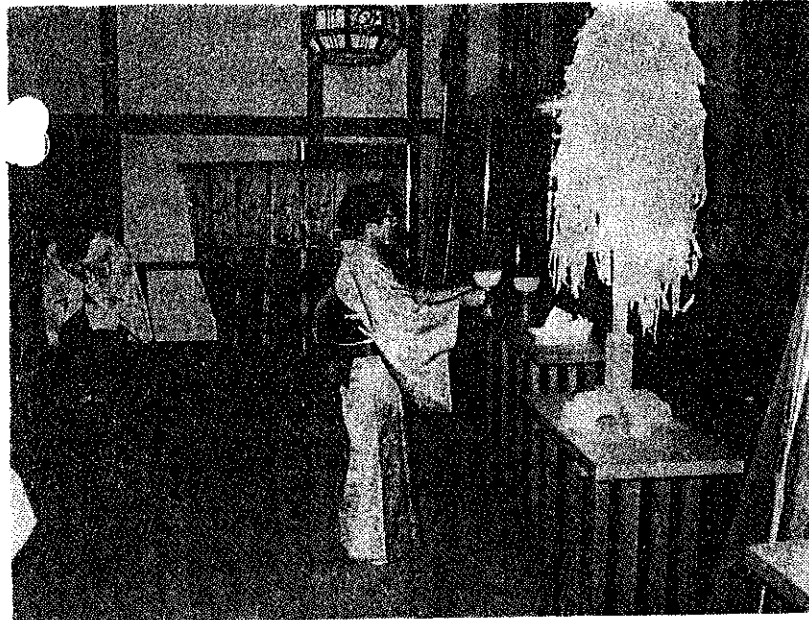
四月二十九日

天長祭当日、表千家同門会宮崎支部師範西田イツさん(日南市屋倉山瀬)他十数名の会員の方々による献茶祭がとり行われた。当日朝からの激しい雨の為、急遽祭場を本殿より儀式殿に移し、午前十一時敷を合図に修祓の儀が行われ、師範西田イツさんの手による抹茶がたてられ、神前に献上し祝詞奏上後、玉串を捧げ無事祭典を終了した。この後神宮職員・天長祭に参列した役員等にお茶がふるまわれ、慣れない手つきで服加減を賞味した。



現代のわれわれの生活に欠くことのできない趣味娯楽にもいろいろあるが、そのうちの茶道は、単なる趣味娯楽から一歩も

二歩も進んで、日本人の日常生活文化の規範を示すものであると考えられる。飲食を中心とする社交的生活文化である茶道は、来客を客間でもてなす方法であり、また、人の家に招かれてもてなされた場合の心得でもある。この方法や心得を体得するために、料理や菓子を吟味して、客前に出したり、好ましい茶碗に香りの高いお茶をたててすすめたり動作や辞儀の訓練を



茶を献げる西田イツさん

必要とする。この訓練や心身の修行の積みかさねた末に到達する境地が茶の道でもある。これは古くから日本の国に伝承されてきた独自の伝統文化であり、伝統芸術であるといえる。この様な道を踏まれた師範西田イツさんは、我々初心者に対し丁寧な作法をご指導をいただき、感謝の気持ちをこめていただいた事が大切なことだと最後の言葉に付け加えられた。

初宮参り

(忌み明けの祝)

子供が生まれて初めての産土神にお参りす行事です。古くはお産を汚れたものと考えていたため忌み明けは母子ともにお宮参りにお参りして忌みを去る潔めを行い、御守護(おまもり)をいただく儀式といわれます。宮参りは生後一ヶ月男子は三十日女子は三十一日目が普通となっておりますが、赤ちゃんの健康状態又母体の回復、近親者の都合等も考慮して晴れた気分のよい日を選び子供の潔めとして近親の女性が抱いてお参りして神様から授かった子供を育てあげる心構えを改めて神にお誓申しあげます。



米国宗教事情

視察記

二月二十四日
三月八日

神道国際友好会主催の第九回海外宗教事情視察が企画され、瀧戸神宮、青島神社の後援により宮崎県神道青年会から四名(浜砂孝行・串間正捷・本部雅裕・黒木忠仁)の会員が参加した。

米国宗教事情視察後記

小戸神社 申 問 正 捷

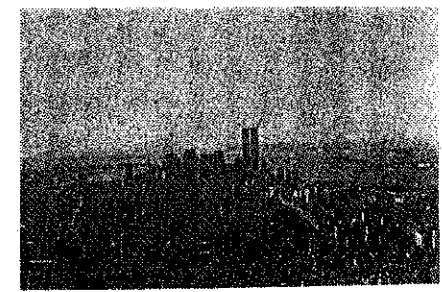
一七七六年独立宣言以来、まだ二百有余年という若き国が建国以来何千年もの歴史を有する世界の伝統的国々を押へ特に第二次大戦後ではあるが、常に世界のリーダーシップをとり続けて来た今、軍事面ではソ連のGNP一四%に対し、米国五%とかなり先を越され、吾国の自動車問題を始めとする経済面内に在りては黒人失業率、特に若年層失業率の増大、またカリフォルニア、テキサス州への不法密入国者の増加、更には近年吾国でも俄にクローズアップされるれてい麻薬、暴力等の青少年の道徳教育問題等々、内外共に数多くの難題を抱へ、ともすれば

西、東との州都を移動するの空路で一日がかりの広大な米國を視察し、米國のキリスト教指導者との懇談会等に参加、又米國の日本大使館正式訪問を終え、無事二週間の日程を終え帰国した。

串間正捷氏、本部雅裕氏の二会員のレポートが届きましたので報告します。

今回の神道国際友好会主催海外文流第九回を数へる、第二次神道米國宗教事情視察団の一員として参加、危機感溢る、米合衆国歴訪に胸を膨らませていたのは私一人りではなかつたろう。

吾國がすっぱり入る面積をもつ訪問国であるカルフォルニア州、サンフランシスコの夜景、ピルの谷間を吹き抜ける強風音、日本列島をゆうに往復できる長さをもつミシシッピ河の広さ、



ニューヨークのビル街



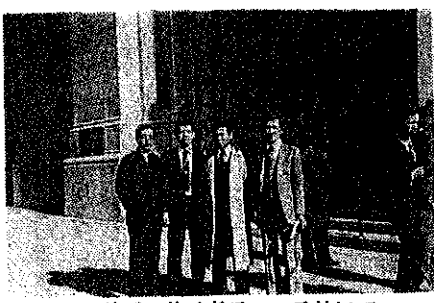
ニューヨークのハーレム街

水量の豊かさ、コロドラ河に築かれていた巨大なフリーバードム、地の涯までも続くかと思われる一直線の道路、初めて眼にする地平線、広大な大陸、次々に展開してゆく壮大な景観はまさに驚異そのものであった。しかしこの広大な大陸にありながら、ニューヨークを筆頭とする大都市の現状は米國の約二十五分の一にしか充たない狭い吾國の都市と同質、それ以上に百何階という高層ビルが、群立、多勢の人数がひしめく現状である。それでも黄色人種の一通通の吾國のそれと違い、多人種の混じると、もの珍らしさよりさきに、一種の脅威を感じたものである。住宅難しかり、地価の高低も例に洩れず、人種によつて居住区の別があるのは御承知の

如く、これも暗黙裡に形成されているようである。七百万年九百万年の年月をかけて刻まれた実に眩暈を覚えた大峽谷、以前は標高二千百米の大平原であつたろう台地をコロラドの流れが徐々に浸食し、今は千六百米に達する深遠なグランドキャニオン、この谷底居留地とは名ばかり、ほんの僅かな緑地帯に今尚、白人社会に同化せず、自給自足を営み、ひっそりと息づくナバホ族を始めとするひとかたまりのインディアン、自己防衛本能の為業か、迫害の為か大都會の魔窟ビル街をハレムとしていた黒人、業にはアメリカ全人口の十%を占めるといふスペイン系民族、キューバ民族、不法入国者は一日三千人はくだらないといわれるメキシコ

人、いわゆる少数民族と呼ばれる人種問題、十四、五年前より市民権運動、人権擁護運動の盛り上がりを見ていたといえ、白人社会の受入れ態勢もさることながら、少数民族側の勤労意欲等々が絡み、対白人との対立はいぜん厳しく建国以来二百年背合せに抱えて来た難問解決の道はなかなか険しいものがある。

さらに今回の主目的たる宗教事情に於てもこのような人種問題もあり、これまた難問山積の状態である。教会側(プロテスタント系)の調査では、神もしくは神以上の力を信じる者が九〇~九五%神の存在を信じる人が六〇~七〇%を占めている。五〇%の人々は行動的である、と全体的に強きの姿勢である反面、政治的に濃い教会で信者数



リバーサイドチャーチ前にて

の減少傾向を、米國憲法には当然政教分離が唱われてはいるが、キリスト教國家である為、この点がいまいになつてしまふ、また精神的なものより物質的なものが重要視されている現代社会では、教会との関係が薄れて来ている点、更には週一度の日曜礼拝の限界点等に分析し、一方、宗教はどの宗教に関わらず特定の関心の為、個人の利益の為に利用されるべきでない」と強調しつつも、個人的(商売繁昌等)宗教的特色を強く打ち出している教会、及び絶対的かつスポンサー的信者をもつ大教会等での信者数の増加している現状を重視し、各家庭での礼拝推進を図り、他方面で関心をもちさせる様、積極的に働きかけを行う等、安閑状態でないようである。

それにもまして、日本の政教分離している点、歴史的、伝統的には特殊宗教に影響を受けて来た点等を同条件としながらも今日の神道隆昌の要因解明に非常に興味を示し時間的余裕のある再会と、増々の交流を望むところでありました。神道の理解度はと申しますと布哇(ハワイ)大神宮、川崎嘉添宮司の教団案の中「日本の指導者等は、大本元全一の神である、天祖天照皇

米國訪問記

新田神社 本部 雅 裕

大神様を、やゝもすれば日本人だけで日本民族だけの神の如く考へ唯我独尊をきめこんで云々「の如き、神道概念が根強く残っていると思われれる発言、日本独自の限られた一民族だけの国民的神道が世界平和とどの様に結びつくのか々が大教会の神界に例えらるる協議員とおぼしき知識人よりなされたのは、神道教化の為に海外交流の必要性、重要性を痛感致しました。

総面積が我が國の二十五倍、また大陸を南北に走るミシシッピ川の全長六千キロメートルは、日本列島をゆうに往復できるといふ巨大な國。國際社会における政治、經濟の中心的な役割を果しているアメリカ合衆國。さらに、戦後の日本に急速な文化文明、思想、風俗を移入してきた米國。戦後社会の我が國にとつて一番の「お手本」であった米國。

この会が浦安き世界の建設の為、会を益々盛会でありませうお祈りしつ、報告とします。附記 此度、鵜戸神宮、青島神社兩社の助成により、米國プロテスタント教会並に各宗教教養者との交流主目的の米國土視察旅行に四名を宮崎神青の代表として参加する機会を得ましたことを光榮に存じている次第であります。

その行程は、西海岸(サンフランシスコ・ロサンゼルス)はもとより、東部にも足を伸ばし、首都ワシントンをはじめ、ニューヨーク、帰途、常夏の州ハワイにも立寄るといふコースである。三月二日には、首都ワシントンのアーリントン国立墓地、無名戦士の墓に詣でることができた。ワシントンは公園都市と呼ば



アーリントン国立墓地

れ、緑に埋もれた美しい街並である。国立墓地もその例にもれず、市街を見おろすこの丘陵地は、手入れの行きとどいた芝生が実に美しいところである。道路の左右に居並ぶ墓は、第一次世界大戦からベトナム戦争に至るまでの、一、國難に殉じた軍人 二、兵役を終えた後亡くなった人 三、その夫人と十八歳未満の子ども

おこなわれる。なおその一切の費用は國費によつて賄われいる。その葬儀の間は、国旗、星条旗も半旗になつて、國全体の弔意を表わしているのである。また、丘の中心部には無名戦士の墓があつて、尊い生命を國に捧げた身寄りの無い兵士は、國家によつて手厚く保護奉養されている。我々も日本の神道界を代表して、戦没者に対し、儀仗兵の行う棒銃と吹奏樂のうちに献花を行い、米國將兵の御靈安かれと祈りを捧げてきた次第である。さらに、米國人がひっきりなしに無名戦士の墓に参拝のため訪れることはいふまでもない。そこで振りかへつて、我が國の現状を考えるに、まことに心さびしい思いがしたのは、私人の感傷ではあるまい。明治維新よりこのかた、身を捨て家族を捨てて國、社会のため、子孫のために散華された幾多の我が國の英靈に対し現代に生きる日本人はどういった形で

その遺徳を称え、慰める術を持つてあろうか。

アメリカの社会は実に雑多である。「人種」のつば「といわれるように、多様な民族、人種によつて成つてはいる。人種については、黒人(全人口十一%)、小教民族(十%)、プエルトリコ人、キューバ難民、メキシコ人の不法入國者の問題、あるいは原住民のインディアン問題などが山積している。

そこで我々は騒々にこの問題について論じることが出来るものではないが、自由と平等を旗じるしとする米國が、今後これら有色人種や小教民族に対する内政をどう進めていくか、関心を持つて見守つていきたいものである。

また信仰も、同じく多様である。あるプロテスタントの牧師の話によると、全米人口のうち一、神を信じる者：90% 95% 二、宗教と多少とも関係している者：60% 70% 三、宗教と活動的に関係している者：40% 45% ということである。宗派も、プロテスタント、カトリックが合せて、九〇%占め、残りがユダヤ教、ギリシヤ正教、さらに仏教派、その他宗

教がひしめきあつてはいる現状であるといふ。

海外旅行の目的にはいろいろあると思うが、その大事の一つに、一歩外に出てみて、我が郷土、國を見つめ直すということがあると考え。そうう意味において、米國は私にとつて非常に有益な旅であった。日本の國にとつて教科書的存在であった米國を、ある種の工業技術でもうすでに追い着き、追い越しているし、經濟的にも米國に近付きつつある。

新職員紹介

味酒安輝社内権称宜

- ※生年月日 昭和三十三年二月十五日
- ※家族 父、母、兄、姉
- ※趣味 野球
- ※常の信条 浄明正直



「鵜戸神宮奉職に際して」

社内権称宜 味酒安輝 今春國學院大學神道學専攻科を修了し、晴れて鵜戸神宮奉職させていただきましたことになりました。神職としての第一歩を伝説と神話に包まれた神宮にて踏み出せることは私にとりましてこのうえない喜びとするところであります。

こういつた經濟的な繁榮とはうらはらに、現代日本の心のありようはどうであらうか。米國に比し、我が國は、単一民族、同一國語を有する國柄である。大きな人種問題もない。諸外國からは、「道義を重んじる國」ともはややされてはいる日本であるが、決して今のままでもいいわけがない。

無名士の墓に敬虔な誠を捧げつつける米國人を見ながら、私の頭の中は晴國の英靈たちのこととていばいいだった。

鵜戸神宮の神苑に足を踏み入るとそこには紺碧の海原が眼下に広がり、太平洋の荒波が休むことなく岩礁を洗い清め、新緑の山々が強い潮風を受けとめている。この壮大な自然は崇敬や信仰の觀念を一段と深めるものであり、兩部神道の一大道場として栄えてきたこの地は私にとりまして絶好の修業の場であると考へます。

朝夕、絶えることのない参拝者の列、手水で身を清め、本殿にて深い祈りを捧げる姿を見るごとに神明奉仕の重、かつ太なる痛感いたしおる次第であります。

巫女として

酒田充子

幼ない時から、毎年元日になると両親につれられて、鵜戸神宮に御参りに来たことを覚えています。何を神様にお願ひしたかは忘れてしまいましたが、でも毎年元日を心待ちに待っていたものです。その私が、今鵜戸神宮の巫女として、毎日、神にお仕えしています。

酒田充子巫子

- ※生年月日 昭和三十五年六月二十六日
- ※家族 父、母、兄
- ※趣味 手芸
- ※常の信条 素直



巫女としての私が覚えなければならぬ事は、沢山あります。とても大変だと思つていますが、太鼓、笛、神殿での所作、装束の種類、その他の祭器具名、大

祭、中祭などの祭の準備、数えたら限りがありません。それに一番大切な事、それは鵜戸神宮の歴史、由来を理解していなければならないことです。

鵜戸神宮では今年の秋に「千二百年祭」が行われます。千二百年という長い年月にどんなことが起こり、また、それ以前に行ったことを、自分の頭の中に入れておかなければなりません。歴史や由来の載っている本を頂いたので、なかなか覚えることができません。でも、一生懸命、巫女として一日一日をがんばって行きたいと思えます。

神宮に

奉仕する私

内山田 貴子

今春、高校を卒業して神宮に奉仕し始め一ヶ月が過ぎ去ってしまいました。

この一ヶ月間というものの社会人として扱れ自分で、何を言う間もなかったようです。私はこの神宮でバイトをしていたせいか、御守りの初穂料などはスムーズに出て来たのですが、しかし覚えるのはそれだけではなかつたのです。オリエンテーションがあり神宮の事についていろいろ教えてもらいました。頭の中が混乱するようで頭が重くなりました。

内山田貴子巫子
※生年月日 昭和三十七年五月十一日
※家族 父、母、姉二人 妹一人
※趣味 レコード鑑賞
※常の信条 初心貫徹



また祈願にも時々奉仕するのですが、間違った点に注意されながら教えてもらっているのだんだん覚えてきました。これから苦しい事などいろいろあると思いますが、自分なり精一杯奉仕させていただきたいと思えます。

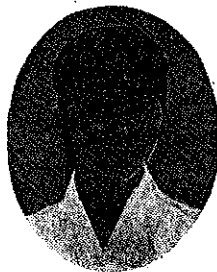
荒川尚子巫子

※生年月日 昭和三十七年八月五日

※家族 母、姉二人、弟一人

※趣味 バスケケット

※常の信条 誠実



神宮に奉仕して

荒川 尚子

鵜戸神宮の巫子として奉仕するようになって、自分が巫子という職業で勤めていけるのか、ととても不安でたまりませんでしたがどうか一ヶ月が過ぎてしまいました。

はじめは、お守りの名前、種類を覚えるのに苦労しましたが、わからないお守りがあった時回りの皆さんから教えてくれましたのでどうか覚えられました。

巫子になったら、笛、太鼓を覚えなければならぬことは知っていましたが、笛を吹いてみたら音がスースーで「ピーー」

という音色が出なくて先輩たちから口のあて方息の出し方を習いました。が、音が長く続かなくて完璧に出ません。でも、絶対頑張ろうと思えます。

その他にも覚えることが沢山あるのにはビックリしました。先輩方についていけるように勉強をしていきたいと思えます。神宮へ来て一番心配していたことは先輩たちと親しくなれるかどうかでしたが、心配は半分もいりませんでした。とっても気軽に話しが付き、冗談も通じるので安心しました。

でも、学生時代とは違い責任を問われるので気楽な学生時代がとってもなつかしく思われます。もっと神宮のことを、沢山覚えて、せいっぱい頑張りたいと思います。

編集後記

南国宮崎は連日三十度を越す日が続き、夏本番たけなわの状態を呈しております。霊峰、速日峯も緑の色も濃く、せみの合唱につつまれております。皆様方如何お過ごしでしょうか。

ここに社報第十八号をお届けします。
今号は七月十五日に行われた

別当宮司先賢殿豊祭(神除幕式)、千二百年奉祝記念事業の完成、又海外研修のレポートを主に本年四月に入社した職員員の拘負を掲載いたしました。

海外研修に参加された四名の神道青年会の方々は生のアメリカに接し、巨大な国、世界をリードする国と感激を受けとめられ、又米国内の諸問題にふれ、あわせて日本の郷土と比して良き点、悪しき点を見聞され、今後の日本の在り方を十分考えさせられる研修であったと報告され、今後の活動を期待するものであります。

昭和五十六年新年特別祈願申し込者名本号で掲載する予定でありましたが紙面の関係上次号に延ばさせてもらいました。ここに託げ申し上げます。又、手造りの新茶をお送り下さいました矢括沢子様ありがとうございます。職員一同賞味致しました。

編集部一同、皆様方の御投稿をお待ち申し上げております。季節柄皆様方の御健勝を祈ります。

